



但定負ノ額一員并一村或五兩村ノ量ニシ

第四條

一 物産世話掛主小民ノ學業ヲ扶助スルモノナレハ必ラズ自己ノ方法ト混滞スヘカラサルハ勿論製法ノ粗惡ヲ戒メテ精製ヲ勸誘シ且計算向不明ニシテ小民ノ疑念ヲ受ケルヲ四ノス  
資金融手續之事

第五條

一 清々ノ溪我海不輸由多ク多量産出セト希ク貯スルニ際シテ必ラ奉更ク意ヲ遣セサルモハ物産世話掛主一ト生ト条子續チ形タル上依テ渡スヘシ

第六條

一 物産世話掛主溪氏ト出ノ金額ト奉人學業産出高トノ相衡ヲ斷リテ相當ト見認レハ還納金當量ニナル等ノ額ヲ堅シ額名ノ金額ヲ合シ世話掛奉人ニ代リ別ニ保証人ト立確實ナル抵當物ヲ屬シ區務所ノ点檢ヲ請ヒ縣廳並ニ課勸業掛ニ差出スヘシ勸業掛ニ於テハ其抵當等之當否ヲ豫メ検査ノ結果レテ相當ト見認ハ申テ廣業商會ニ照會シテ貸渡ノ手續ヲ行ハシ世話掛ニ示スヘシ

但溪氏ノ姓名各自ノ借入高ト計算向世話掛主詳

第九條

一 債主、内所有之担保アルモノハ是等担保世話代ハ出スヘシ  
世話代ノ第五條同様ノ多量ヲ以テ出スルトモ他ノ借入  
ト混滞セサル様必ズ別原ニ取扱フヘシ

第七條

一 貸出フヘキ金額ニ担保世話代ノ代リ取出右ノ對シ  
以テ然タル以上仮令債主ノ内如何ナル不都合アルに依リテ  
世話代ニ担保スヘシ

担保ノ事

第八條

一 担保ノ事、担保書ニ夫不効產ヲ担保世話代ノ新  
ト出スヘシ、又検査ノ上担保ナル時支連テ貸渡シ  
テハ、或ルヘシ

但し債証書支時價ヨリ増加スルヲアルヘシ

還納ノ事

第九條

一 還納ノ事、豫メ物不產出ノ期節ナク度ノ其担保世  
話代ニテ取集メ、賣却キ、少額ナシ代金ヲ以テ元利  
金積業高會ニ還納

是利子女之令百箇

廣業商會  
小タルハシ

第十條

一 謂レテク還納ノ期限ヲ怠ルモノアレハ勸業棧ノ官員ヨリ  
之レヲ督責シ返金ノ手續ヲ為サシムヘシ

運搬ノ事

第十一條

一 各所漢民ノ内管令傳受ルモ、各自主製品ヲ悉  
ク湖系ノ世話棧、柳渡ニ世話棧ト是等帳簿ニ記載  
シテ示ルコトヲ不均並多キ如ク以長壽港ニ  
輸送シ上勸業棧ニ存出ヘシ

但輸送ノ丁度世話棧亦其代理人附屬スヘシト是等把  
手ノ代理ハお立ルニ妨ケナシ

賣捌ノ事

第十二條

一 長崎港ノ輸送シタル物果勸業棧ノ届ノ上廣業商會ノ  
依頼ニ奉港亦其港向上海ニテ賣捌クヘシ其賣捌ノ所  
ノ上支回者會ヲ於テ賣液シタル元利金引去抽金及抽  
為果トモ物産世話棧、柳渡スヘシ世話棧ニ還納所ニ  
肯テ勸業棧ノ不仕ヘシ

第十三條

東

廣業商會

廣業商會一依輕シタル

ノ所存ヨリ主業ノ

廻引スルモノハ莊頼ケノ上進テ賣捌等回高會一依輕

ニ昔勸業掛一初出レ

但莊頼ケノ果チ担為トナシ者借スル時々、務業高會

一協儀承諾ノ上タリト魚回高會ヨリ貸渡シテ

利金支必ず奉文ノ手續ヲ以還納スヘシモ莊頼

中一品相子入等々回高會一物置ベシ

歩割之事

分十四条

一 名所物産世々掛支物不ノ製法ヲ始担為ヲ周旋シ信入

合ノ保証人ナリ第一未納アレハ是ヲ轉候スル廉ヲ以純

益十分ノ三ノ分典スヘシ

第十五条

一 漁民ノ田自邑所有ノ担為ノ事ヲ以進産世話掛一依輕

賃金信受タルモノハ純益ノ十分ノ一ヲ世話掛一分典スヘシ

第十六条

一 漁民ノ田自邑金ヲ信受ケス製シタル物果チ世話掛一依輕

シ賣捌モノハ相着ノ手續科ヲ支スヘシ

報告ノ事

第十七条

一 物産世話式ニ取扱之諸品常制代官外諸報其  
紙益計算等明瞭ニ詳記シ一々年毎度勸業式ニ差  
出シ且資本金借受タル漢民中ニ廣告スルニ  
監智ニ事

第十八条

一 物産世話式ニ取扱ナルモノニテ必ス不正ノ儀キアルマレ  
キハ自任如何ノ罪アリテハ不都合ニ付正副長  
内勸業世話擔當分掌ノ者相定蓋平素取扱  
監智セシムルニシ

第十九条

一 第二課勸業式ノ官費々不内浦々々巡廻シ製造粗悪  
及世話式取扱等検査シ強テ規則ニ觸タルトア  
是ヲ知覺スルトアルニシ

東  
京  
廣  
業  
商  
會

東

廣業商會